I-O DATA

121044-01

MOA-iU シリーズ セットアップガイド

Windows 編

●「はじめにお読みください」を事前にご覧ください。
●合わせて、CD-ROM 内のオンラインマニュアルもご覧ください。

インストールしよう

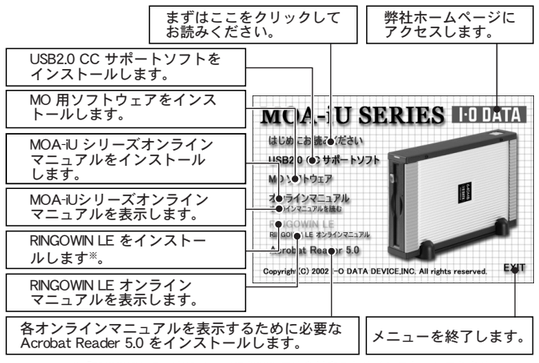
※まだ本製品をパソコンに接続しないでください。

CD メニューを表示する

1 パソコンに接続している全ての USB 機器を取り外します。

2 「MOA-iU シリーズサポートソフト」を挿入します。
⇒自動的に CD メニューが表示されます。

参考 **自動的に CD メニューが開かない場合は**
「MOA-iU シリーズサポートソフト」の中にある［AUTORUN］アイコンをダブルクリックしてください。



※「RINGOWIN LE」はWindows XP/2000 では未対応のためインストールできません。
また対応 OS の場合でも、1.3 G バイトのMO ディスクでは、ご使用いただけません。

USB 2.0 CC サポートソフトを入れよう

USB 2.0 CC サポートソフトをパソコンに入れる手順を説明します。

参考 ● Windows XP では必要ありません。「MO ソフトウエアを入れよう」にお進みください。Windows 2000 の場合、インストールできるアカウントでログオンしてください。

USB 2.0 CC サポートソフトを入れる

● Windows 2000 / Me / 98（SE 含む）の場合

1 **USB2.0 CC サポートソフト** をクリックします。

2 ［OK］ボタンをクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。



以上で、USB 2.0 CC サポートソフトがインストールされました。

MO ソフトウェアを入れよう

Windows XP/2000 の場合

1 **MO ソフトウェア** をクリックします。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［インストール］ボタンをクリックします。

4 ［完了］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックします。
⇒パソコンは再起動されます。

以上で、MO ソフトウェアがインストールされました。

Windows Me/98（SE 含む）の場合

1 **MO ソフトウェア** をクリックします。

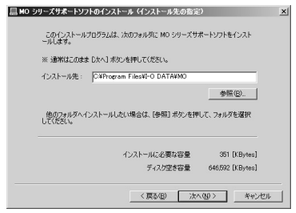
2 下の画面が表示されます。
※ Windows Me/98 SE で表示されます。
Windows 98 では表示されません。

弊社製 IEEE 1394 MO ドライブをお使いかどうかでクリックするボタンが変わります。
お使いの場合　［はい］ボタンをクリックします。
お使いでない場合　［いいえ］ボタンをクリックします。



3 ［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。



参考 **インストール先のフォルダを替えたい場合**
［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

5 下のような画面が表示される場合は…
［はい］ボタンをクリックします。



6 ［設定完了］ボタンをクリックします。

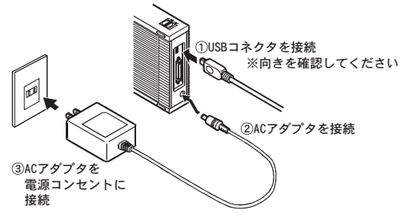
7 ［完了］ボタンをクリックします。

8 ［はい］ボタンをクリックします。
⇒パソコンが再起動されます。

以上で、MO ソフトウェアがインストールされました。

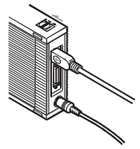
接続しよう

1 MO ドライブにケーブル、AC アダプタを接続します。

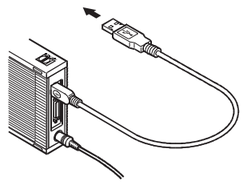


注意 **このとき電源ランプはまだ点灯しません！**
電源連動機能により、USB ポートに接続するまで本製品の電源は入りません。接続したパソコンが起動していると、本製品の電源が入り、電源ランプが点灯します。

2 本製品の電源を入れます。
電源スイッチを「ON」にします。



3 本製品を USB ポートに接続します。
USB ポートの場所については、パソコンまたは USB インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は接続されました。

確認しよう

本製品が正しく使えるか確認します。

注意 **USB 2.0 インターフェイスに接続する場合**
各インターフェイスの取扱説明書をご覧の上、正常に動作していることをご確認ください。

共通の確認事項

1 本製品以外の取り外し可能な機器を全て取り外しパソコンを起動させます。

2 「システムのプロパティ」を開きます。

●Windows XP の場合
①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
②［システム情報を表示する］をクリックします。

●Windows 2000/Me/98 の場合
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 「デバイスマネージャ」を開きます。

●Windows XP/2000 の場合
①［ハードウェア］タブをクリックします。
②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

●Windows Me/98 の場合
［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 ［種類別］の表示にします。

●Windows XP/2000 の場合
［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。

●Windows Me/98 の場合
［種類別に表示］をクリックします。

Windows XP/2000 の場合（Windows 2000）



Windows Me/98 の場合（Windows Me）



5 確認します。
①［USB(Universal Serial Bus) コントローラ］か、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の左にある［+］をクリックします。
⇒その下が表示されます。
②USB コントローラを確認します。
③本製品のドライバを確認します。
Windows XP　［大容量記憶装置デバイス］
Windows 2000/Me/98　［I-O DATA USB2-IDE/ATAPI Bridge Adapter］

Windows XP の場合



Windows 2000/Me/98 の場合（画面は Windows Me）



※②の表示はパソコンによって異なります。

6 「デバイスマネージャ」を閉じます。

7 本製品のアイコンを確認します。
［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。
⇒これが本製品のアイコンです。

Windows XP の場合　リムーバブル ディスク
Windows 2000/Me/98 の場合　リムーバブル ディスク (E:)

手順 5 にて各表示があり、手順 7 にて本製品の表示があれば、本製品は正常に認識されています。

Windows XP の確認事項

Windows XP の場合、最適なパフォーマンスに設定されているか確認します。

1 「マイコンピュータ」を開きます。
［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

2 リムーバブルディスクのプロパティを開きます。
本製品のアイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［ハードウェア］タブをクリックします。

4 本製品を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。
本製品の表示をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。



参考 **本製品の表示**
「FUJITSU MCx3xxxAP USB Device」と表示されます。（ xxx には英数字が入ります。）

5 ［ポリシー］タブをクリックします。

6 ［パフォーマンスのために最適化する］を確認します。
［パフォーマンスのために最適化する］が選択されていない場合、選択します。

7 ［OK］ボタンをクリックします。
⇒本製品のプロパティが閉じられます。



8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 ［キャンセル］ボタンをクリックします。
⇒［リムーバブルディスクのプロパティ］が閉じられます。

以上で、最適なパフォーマンスでご使用いただけます。

使ってみよう

パソコンを起動する

1 「接続しよう」に従い、本製品を接続します。

2 パソコンを起動すると、本製品に電源が入ります。（電源連動機能）

参考
電源連動機能
接続したパソコンの電源に連動して、本製品の電源が ON ／ OFF されます。この機能により、接続したままにしておくとパソコンの電源で動作し、本製品の電源を ON ／ OFF する必要が無くなります。
条件：添付の USB ケーブルを接続し、本製品の電源スイッチが ON になっていること。
※ i・CONNECT 対応オプションを接続した場合は、この機能は働きません。

3 プラグアンドプレイで自動的にパソコンに認識されます。

パソコンを終了する

パソコン→本製品の順に電源を切ります。

1 本製品から MO ディスクを取り出します。
【MO ディスクの操作】をご覧ください。

2 Windows を終了し、パソコンの電源を切ります。
電源連動機能により、自動的に電源が切れます。
この状態で本製品の電源を OFF にすることができます。

ホットプラグで接続する

パソコンの電源が入っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源スイッチを ON にします。

2 本製品を USB ポートに接続します。
電源連動機能により、自動的に電源が入ります。

3 プラグアンドプレイで自動的にパソコンに認識されます。

ホットプラグで取り外す

パソコンの電源を切らずに本製品を取り外します。

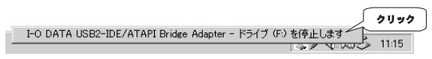
1 本製品から MO ディスクを取り出します。
【MO ディスクの操作】をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 本製品の表示をクリックします。
複数の USB 2.0 製品を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

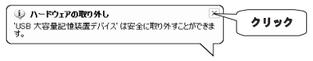
Windows 2000 の場合



参考
「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使っているソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、上記【●パソコン→本製品の順に電源を切る】の手順を行ってください。

4 メッセージを確認します。

Windows XP の場合



Windows 2000 の場合



Windows Me/98 (SE 含む) の場合

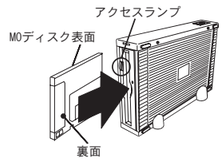


5 本製品を USB ポートから取り外します。
電源連動機能により、自動的に電源が切れます。
この状態で本製品の電源を OFF にすることができます。

MO ディスクの操作

●MO ディスクを挿入する

1 MO ディスクを挿入します。
MO ディスクの表側をアクセスランプに向け、MO ディスク挿入口へカチッと音がするまでまっすぐに挿入します。



注意
MO ディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。

●MO ディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows 上で［取り出し］をクリックします。
本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。
⇒自動的に MO ディスクが出てきます。

MO ディスクをフォーマットする

注意
フォーマットすると、データはすべて消去されます
必要なデータがある場合は、先にハードディスクなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。

注意
新しい MO ディスクを使用する際には、まずはフォーマットが必要です
フォーマットが完了すると同時に自動的に MO ディスクが排出されます。

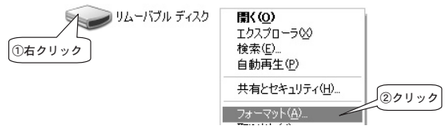
Windows XP の場合

参考
・すべてのユーザーで、MO ディスクをフォーマットしたい場合
コンピュータの管理者グループに属するユーザーのみフォーマットすることができます。
【権限変更】（オンラインマニュアル）をご覧になり、ローカルポリシーの設定を［Administrators と Interactive Users］に変更してください。権限変更は Windows XP Professional Edition でのみ可能です。
・MO ディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
その MO ディスクは使わないでください。

1 フォーマットしたい MO ディスクを挿入します。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。
［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

3 「フォーマット」を起動します。
①［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックします。
⇒メニューが表示されます。
②メニュー内の［フォーマット］をクリックします。



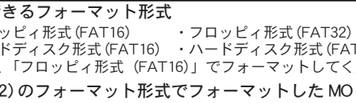
注意
ファイルシステムの［NTFS］は使わないでください
MO ディスクを正しく使うことができません。

4 フォーマットの設定をします。
①［ファイルシステム］を設定します。
②［開始］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが開始されます。

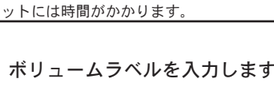


参考
・［ファイルシステム］の設定
［FAT］ ：通常、この方式をお使いください。
［FAT32］：この方式でフォーマットされた MO ディスクは古い Windows 95 などで見ることが出来ません。
［NTFS］ ：設定しないでください。
・［クイックフォーマット］
一度フォーマットされている MO ディスクを素早くフォーマットできます。

5 ［OK］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが開始されます。
フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。



6 ［OK］ボタンをクリックします。



7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上で、MO ディスクはフォーマットされました。

Windows 2000 の場合

注意
ユーザー権限の場合
パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。フォーマットが正常にできなくなります。その場合は、一度 Administrator グループに属するユーザーでログオンしなおすか、パソコンを再起動してください。

参考
・すべてのユーザーで、MO ディスクをフォーマットしたい場合
Administrator グループに属するユーザーのみフォーマットできます。【権限変更】（オンラインマニュアル）をご覧になり、権限を［全てのユーザー］に変更してください。
・MO ディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
「MO ディスクフォーマッタ」で物理フォーマットをすることにより、再び使用できる場合があります。

1 本製品に MO ディスクを挿入します。

2 「MO ディスクフォーマッタ」を起動します。
［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MO ディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

3 本製品を選びます。

参考
本製品の表示
「FUJITSU MCx3xxxAP」と表示されます。(xxx には英数字が入ります)

4 フォーマット形式を設定します。
フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。

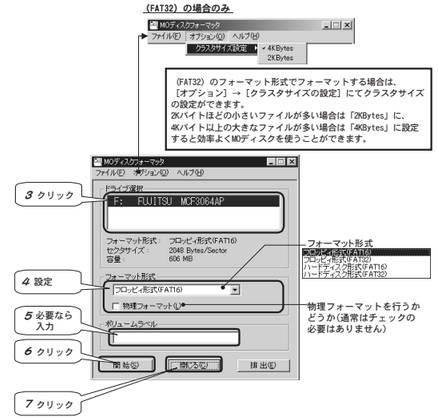
参考
・選択できるフォーマット形式
・フロッピィ形式 (FAT16)　・フロッピィ形式 (FAT32)
・ハードディスク形式 (FAT16)　・ハードディスク形式 (FAT32)
通常は、「フロッピィ形式（FAT16)」でフォーマットしてください。
・(FAT32) のフォーマット形式でフォーマットした MO ディスク
MS-DOS などの FAT32 に対応していない OS では読み書きできません。
・通常、［物理フォーマット］は必要ありません
物理フォーマットには時間がかかります。

5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

6 ［開始］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットが始まります。

7 作業が終わったら、［閉じる］ボタンをクリックします。
⇒フォーマットは終了です。

(FAT32) の場合のみ



以上で、MO ディスクはフォーマットされました。

Windows Me/98 (SE 含む) の場合

1 本製品に MO ディスクを挿入します。

参考
いきなり手順 3 の画面になることがあります。
その場合は、下記手順 3 にお進みください。

2 ［MO フォーマット］を起動します。
「マイコンピュータ」内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された「MO フォーマット」をクリックします。

参考
［MO フォーマット］と［フォーマット］が同時に表示される場合
［MO フォーマット］をクリックしてください。

3 設定を選び、[スタート] ボタンをクリックします。
MO ディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。

4 フォーマット後、［閉じる］をクリックします。
フォーマットが終了すると、MO ディスクが自動的に出てきて、フォーマット結果が表示されます。
確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上で、MO ディスクはフォーマットされました。

参考
フォーマット後は
フォーマット後の MO ディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをおすすめします。
①［リムーバルディスク］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。
②［ツール］タグを選択し、エラーチェックの履歴の チェックする をクリックします。
③［リムーバルディスク］が選択されていることを確認し、 開始 をクリックします。

2002. Sep. 10
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。